

ベトナムでも「イーソーコ」

海外初進出 ホンダロジコムが運営

物流不動産の検索サイト、イーソーコ・comが初の海外展開としてベトナムに進出する。中部イーソーコ・com(<http://www.chuubu-e-sohko.com>)を運営するホンダロジコム(愛知県春日井市、本多満社長)が1日、ベトナムの物流施設を紹介する「ベトナムイーソーコ」



「URL=<http://vietnam.e-sohko.com/> = 写真)を開始した。日本語で、現地進出日系企業や、現地に仕入先・納入先企業向けのサービスとなっている。

中国との政治的緊張関係や、タイ洪水などのリスク回避として、最近ではベトナムへの進出企業が増加傾向にあり、この動きに伴い物流施設の需要も増加している。従来は実際に現地を訪問して情報収集する必要があったが、ベトナムイーソーコ・com開設により、日本からでも倉庫情報を検索することが可能になる。また、ホンダロジコムはベトナムで保管や倉庫内作業、トラック配送も行っており、問い合わせがあった企業に対して

は物流サービスも提案する予定だ。

ホンダロジコムは既にベトナムに支出する大手自動車メーカーから物流改善を求められ、4年前からベトナムで業務を開始。現地スタッフを日本の物流現場で長期研修してから現地法人で再雇用するなど、ベトナムで日本品質の物流を実現している。2006年からは中部イーソーコ・comを運営し、中部圏の物流施設の情報を収集、仲介などを行ってきた。

イーソーコ・comは物流不動産事業を手がけるイーソーコ(遠藤文社長)の子会社、イーソーコドットコム(早崎幸太郎社長)が開発、提供するサイト。全国3万4000件の空き物流施設の情報が入っており、物件数では日本最大級の物流不動産検索サイトとなっている。